

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[認証値を設定して下さい](#)

[Microsoft 紺碧 AD を設定して下さい](#)

[カスタム Webアプリケーションを作成して下さい](#)

[カスタム Webアプリケーションを設定して下さい](#)

[明らかな作成して下さい](#)

[借用者 ID を見つけること](#)

[保存されるべき値の最終的なレビュー](#)

[ESA のメールボックス設定を設定して下さい](#)

概要

この資料に Microsoft 紺碧 AD およびオフィス 365 を Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) を使用するためにセットアップおよび設定する方法を記述されています。

前提条件

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

• E メール セキュリティ 9.9.5-039 (ベツラージョ) 用の AsyncOS、またはより新しい。
この資料はまた次を必要とします:

- [オフィス 365](#) アカウント サブスクリプション ([オフィス 365 アカウント サブスクリプション](#) が E-メールを送るためにアクセスが含まれている企業 E3 または企業 E5 アカウントのようなことを確かめて下さい。)
- [Microsoft 紺碧](#) アカウント
- オフィス 365 および Microsoft 両方紺碧 AD アカウントは `user@domain.com` アクティブな eメールアドレスにきちんと結ばれ、そのドメインおよびアカウントによって電子メールを送信し、受信できます。
- Windows サーバから通常管理される Windows PowerShell に、アクセスして下さい。
- 公共/私用 認証を作成するドメイン アクティブなパブリック/私用 認証に署名するのに使用される認証およびプライベートキーまたは認証に署名するのに使用されるプライベートキーを保存する機能および能力。

認証値を設定して下さい

Windows にログインすれば、PowerShell を使用して `$keyid`、`$base64Thumbprint` および `$base64Value` をマッピングし、得る次のコマンドを完了して下さい:

1. `$cer = 新しいオブジェクト System.Security.Cryptography.X509Certificates.X509Certificate2`
2. `$cer. インポート (「C:\path_to_cert\PEM_certificate.crt」)`
3. `$bin = $cer.GetRawCertData()`

4. \$base64Value = [System.Convert]::ToBase64String(\$bin)
5. \$bin = \$cer.GetCertHash()
6. \$base64Thumbprint = [System.Convert]::ToBase64String(\$bin)
7. \$keyid = [System.Guid]:: NewGuid().ToString()
8. エコー
9. エコー
10. エコー \$keyid

この資料の為に、設定例は「esatest.onmicrosoft.com に基づいています」。PowerShell によって実行されるようにコマンドは次の例に類似したてであるはずですが:

これらの値が作成の使用された以降この資料の明らかなセクションであるので、によって \$keyid のために表示される出力 \$base64Thumbprint および \$base64Value を保存して下さい。
\$base64Thumbprint は ESA 設定の間に使用されます。

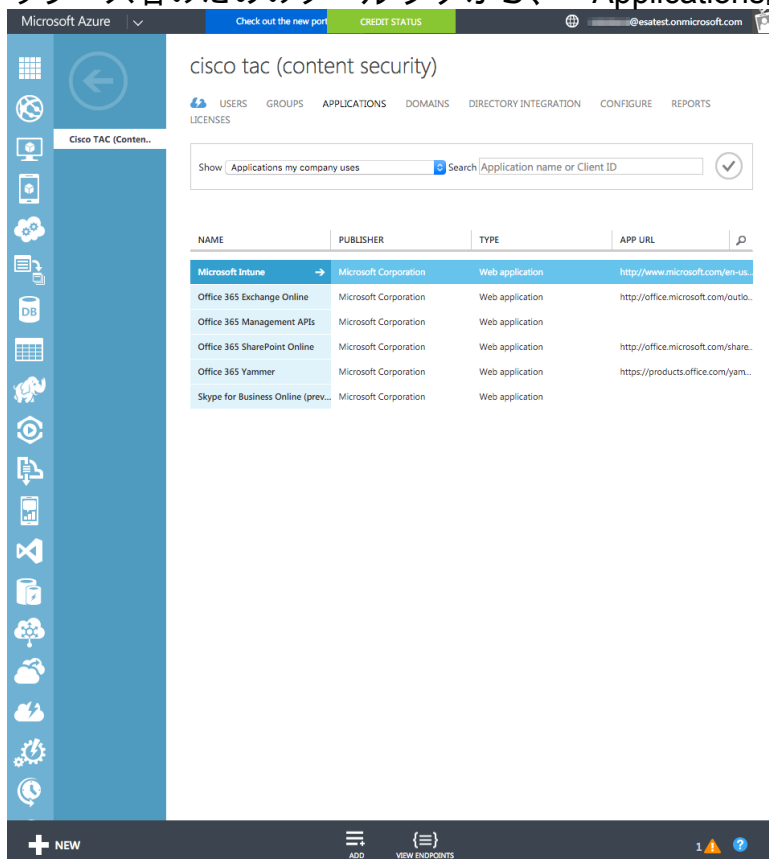
注 単一行であるために \$base64Value が編集されるために必要となります。

認証 (.pem) にローカルで署名するのに使用される公開鍵 証明書 (.crt) およびプライベートキーを保存して下さい。 プライベートキーは ESA 設定の間に必要です。

Microsoft 紺碧 AD を設定して下さい

カスタム Webアプリケーションを作成して下さい

1. [Microsoft 紺碧](#) にログインして下さい。
2. **すべての ITEM** へのナビゲート。
3. ドメインのリソース名をクリックして下さい。
4. リソース名のためのツール タブから、『Applications』を選択して下さい。



5. 一番下ツールバーから、『Add』を選択して下さい:_____
6. 「何を示されたときしたいと思いますか。」、組織が開発しているアプリケーションを『Add』を選択して下さい。
7. 適切な名前で作成し、Webアプリケーションや Web API として型を残し、続くために矢印をクリックして下さい:

ADD APPLICATION ×

Tell us about your application

NAME

Type

WEB APPLICATION AND/OR WEB API ?

NATIVE CLIENT APPLICATION ?



8. ドメインのためのカスタム Webアプリケーションを終わり、次の値を追加することを入力し終わるためにチェックをクリックするため: サインオン URL: `https://<your.domain.com>/ManualRegistration` APP ID URI: `https://<your.domain.com>`

ADD APPLICATION ×

App properties

SIGN-ON URL ?

APP ID URI ?

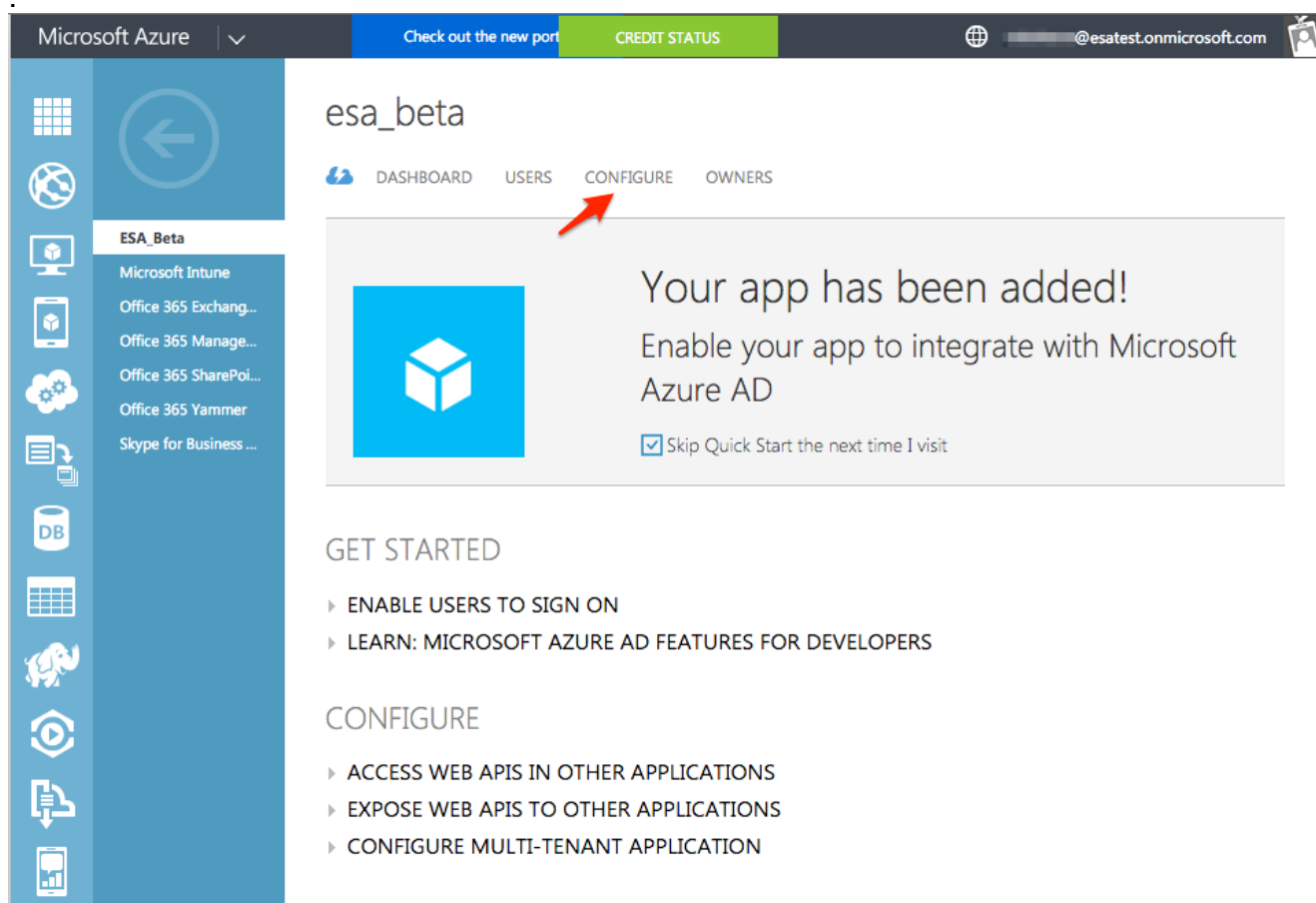
 

9. [アプリケーション ID URI](#) に関する Microsoft から、「アプリケーション ID URI は論理的な識別子であるので、インターネット アドレスに解決する必要はありません。それはアプリケーションによって単一サインオン要求を紺碧 AD に送信するとき示されます。紺碧 AD はアプリケーションを識別し、アプリケーション登録の間に提供された応答 URL へのサインオン応答 (SAML トークン) を返します。wrealm プロパティ (WS フェデレーションのために) または発行元プロパティを設定するのにアプリケーション ID URI 値を (SAML-P のために) サインイン要求を作った場合使用して下さい。アプリケーション ID URI は組織の紺碧 AD の固有の値である必要があります」。

注 「外部ユーザ向けのアプリケーションを有効にした場合、アプリケーションのアプリケーション ID URI の値はディレクトリの確認されたドメインの 1 つのアドレスである必要があります。その結果、それは壺である場合もありません。この安全対策は他の組織が (規定することおよび) 組織に属する一意のプロパティを奪取することを防ぎます。開発の間に、組織の最初のドメインの位置に (カスタム/虚栄心ドメインを確認しなかったら) App ID URI を変更でき、New 値これを使用するために app をアップデートします。最初のドメインは contoso.onmicrosoft.com のような参加する」。作成する 3 レベル ドメインです

カスタム Webアプリケーションを設定して下さい

1. カスタム Webアプリケーションが作成されたら、カスタム Webアプリケーション自体に自動的にナビゲートされます。ここから、ツール タブで、『Configure』を選択して下さい

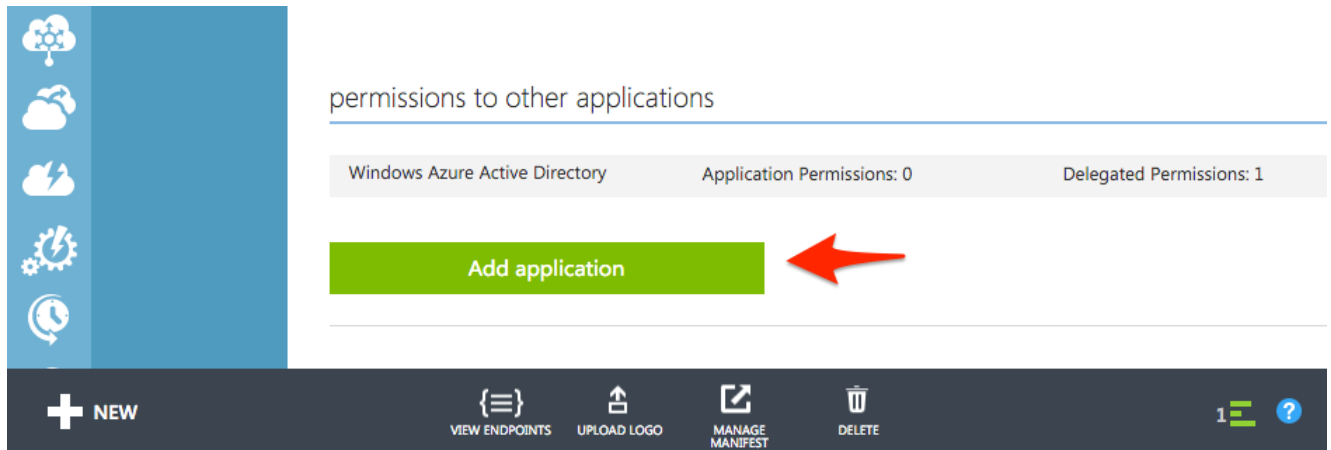


The screenshot shows the Microsoft Azure portal interface. At the top, there's a navigation bar with 'Microsoft Azure', 'Check out the new port', and 'CREDIT STATUS'. The user's email '@esatest.onmicrosoft.com' is visible in the top right. The main content area is for 'esa_beta' and has tabs for 'DASHBOARD', 'USERS', 'CONFIGURE', and 'OWNERS'. A red arrow points to the 'CONFIGURE' tab. Below the tabs, a message states 'Your app has been added! Enable your app to integrate with Microsoft Azure AD' with a checkbox for 'Skip Quick Start the next time I visit'. Underneath, there are sections for 'GET STARTED' and 'CONFIGURE' with various links and options.

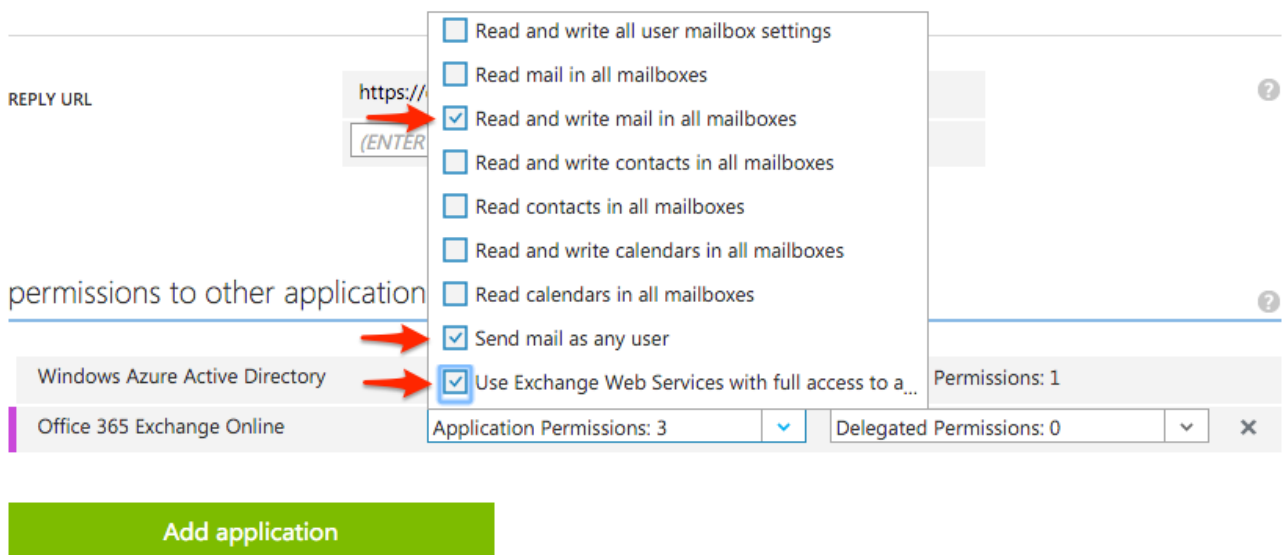
2. この画面から、作成されるようにサインオン URL および他のコンフィギュレーションの詳細を見ることができます。注クライアントIDはこの画面にリストされています。この値は



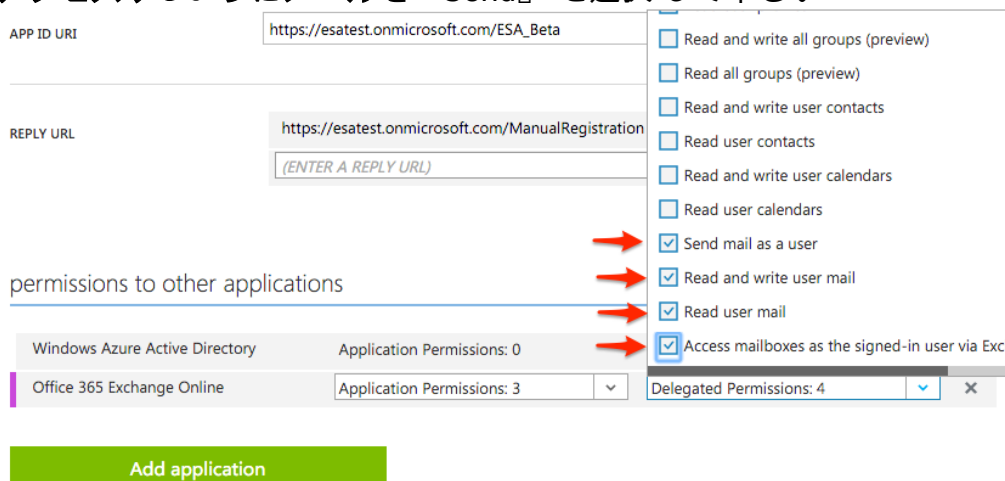
3. カスタム Webアプリケーション 設定のためのこの同じ画面から、下部のにスクロールし、アプリケーションを『Add』 をクリックして下さい



4. オフィス 365 Exchange オンラインを選択し、続くためにチェックをクリックして下さい。
5. オフィス 365 Exchange OnlineApplication 権限に関しては、読まれる選択し、すべてのメールボックスにあらゆるユーザとしてメール、メール送信、およびフルアクセスを用いる使用 Exchange Web サービスを...書いて下さい



6. オフィス 365 Exchange OnlineDelegated 権限に関しては、ユーザが、読み、ユーザ メールを書き、ユーザ メールを読み、ユーザ署名のとして Exchange によってメールボックスにアクセスするようにメールを『Send』 を選択して下さい

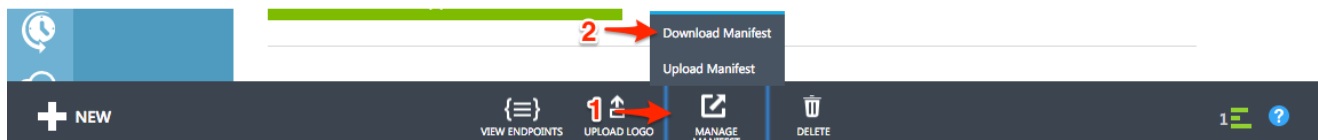


7. カスタム Webアプリケーションのためのすべての作業および設定を保存するために一番下ツールバーから『SAVE』 をクリックして下さい

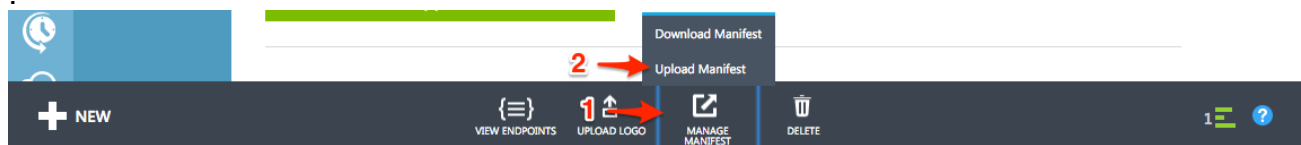


明らかな作成して下さい

1. カスタム Webアプリケーションが保存およびアップデートを完了したら、**明らか** > 一番下ツールバーから**明らかなダウンロード**『Manage』 をクリックして下さい



2. 応答によってナビゲートし、ローカル コンピュータに .json 形式で明らかな Webアプリケーションを保存して下さい。
3. この .json ファイルを見つけ、テキストエディタとこの .json ファイルを開いて下さい。
(望ましい Notepad++、原子、等)
4. 「keyCredentials」行を検索し、見つけて下さい。
5. 設定認証値セクション ($\$base64Thumbprint$ 、 $\$keyid$ および $\$base64Value$) からのより早い識別された資格情報を使用して次の複数の回線が付いているこの単一行、およびカスタマイズを取り替えます:
6. $\$base64Value$ を入力した場合、これが単一行値であるために編集されるために必要となる、先に注意される。
7. この資料の初めから作成されるように例と続いて、修正された *keyCredentials* は次の通りです:
8. .json ファイルをローカルで保存して下さい。
9. ブラウザおよび Microsoft 紺碧ポータルに戻って下さい。
10. **明らか** > **明らかなアップロード**『Manage』 をクリックして下さい

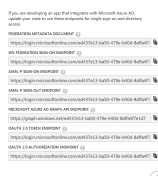


11. 参照し、編集された .json ファイルを見つけ、アップロードを完了するためにチェックマークを選択して下さい。

借用者 ID を見つけること

1. Microsoft 紺碧 AD で統合エンドポイントを表示するためにエンドポイントを『View』 をクリックして下さい。
2. URL を使うと、各行の同じような値に、これによってが借用者 ID である "ed437e13-ba50-479e-b40d-8affa4f7e1d7," 注意して下さい。

App Endpoints



これはアプリケーションおよび設定にユニークです。 ESA の後期コンフィギュレーションのこの値を記録して下さい。

保存されるべき値の最終的なレビュー

次の値は使用のための Microsoft 紺碧 AD 設定の間に ESA のメールボックス設定を行った場合記録する必要があります:

から認証値を設定して下さい:

- プライベートキー 認証 (.pem)
- \$base64Thumbprint

からカスタム Webアプリケーションを設定して下さい:

- クライアントID

借用者 ID を見つけることから:

- 借用者 ID

ESA のメールボックス設定を設定して下さい

完全な Microsoft 紺碧 AD 設定によって ESA を通信し、検証してもらって準備ができています。

1. GUI による ESA アプライアンスへのログイン。
2. システム 管理 > メールボックス設定の下のイネーブル オフィス 365 メールボックス設定。
3. 選択して下さいか。 オフィス 365 メールボックス設定を有効に して下さいか。 チェックボックスは Microsoft 紺碧 AD を及び ESA アプリケーションを認証の拇印及びプライベートキーと共に登録している間取得する Microsoft 紺碧 AD 詳細に (クライアントID 及び借用者 ID) 与えます。
4. メールボックス設定への変更を保存するために 『SUBMIT』 をクリックして下さい。
5. 設定されるようにオフィス 365 ドメインのためのこの時に Microsoft 紺碧 AD への接続をテストする必要があります

:

Mailbox Settings

Success — The settings were configured successfully . You must test the connection.

Office 365 Mailbox Settings	
Azure AD Details:	Client ID: 19d048bb-1c44-401b-b1fa-a61d67a9caca Tenant ID: ed437e13-ba50-479e-b40d-8affa4f7e1d7 Thumbprint: 3DLH9EqnuMPdkMrUj/Fa1jxa+XU= Certificate Private Key: Successfully uploaded
Check Connection...	Edit Settings...

6. アクティブの使用すればアカウントの有効な eメールアドレスは、接続を 『Test』 をクリッ

Connection Check

Connection Parameters

Office 365 Email Address: [text] [Test Connection](#)

Connection Status

Connector to Azure AD: Connection Successful. Inbox count of Messages are 0

クします:

7. 接続ステータスが正常、接続チェックを完了するために『Done』をクリックして下さい。
8. 最終的には、ESA ですべてのコンフィギュレーション変更を保存するために**託します**をクリックして下さい。